



Kabuto



FF-5V系 取扱説明書

保存用



ご使用になる前に

この取扱説明書は必ずヘルメットご使用前にお読みください。またお読みの後は、保管してくださいますようお願いいたします。

メットインスペースへの収納について
当製品は車種により「メットインスペース」への
収納ができない場合があります。
あしからずご了承ください。

ご使用になる前に

このたび、当製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。

この取扱説明書はお買い上げいただいたヘルメットの正しい取扱い方法や各機能、脱着などについて説明しております。ご使用になる前に必ず最後までお読みください。

またお読みの後は、大切に保管してくださいませようお願いいたします。

ヘルメットは、いかなる事故にも、絶対という訳ではなく、万一の際に危険の度合いを減らす装備の一つで、安全の一要素にすぎないということをよくご理解のうえご使用ください。

安全快適なモーターサイクルライフを楽しむためにも、本書に記載の注意事項をよくご理解いただきますようお願いいたします。

❗ 頭に合ったサイズのヘルメットを、お選びください。

大きすぎるヘルメットは、走行中ぐらつき危険です。また小さすぎるヘルメットは、頭を締めつけ痛くなる可能性もあるので、頭によく合ったヘルメットをお選びください。

❗ あごひもは必ずしっかり締めてください。

あごひもを締めなかったり、締め方がゆるいと、万一転倒した時などに脱げてしまい、頭を守る事ができず非常に危険です。

❗ 大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上に損傷がなくても、ご使用にならないでください。

ヘルメットはシェル及び衝撃吸収ライナーが潰れることで、衝撃エネルギーを吸収します。

大きな衝撃を受けたヘルメットは、既にライナーが潰れている場合が多く、そのまま使用すると、再度衝撃エネルギーを吸収できず非常に危険です。外観にキズ等がなくても、使用しないでください。

❗ ヘルメットの改造は絶対にしないでください。

ヘルメットに穴を開けたり、内部の衝撃吸収材を削ったり、また、あごひもなどは絶対に改造しないでください。

ヘルメット本来の性能が発揮できなくなり非常に危険です。

❗ ヘルメットのお手入れは薄めた中性洗剤でふき取るようにしてください。

ガソリン、シンナー、ベンジン、熱湯(50℃以上)や、塩水等は絶対に使用しないでください。

ヘルメットの材質が冒され、ヘルメットの性能が低下するおそれがあります。

❗ ヘルメットを塗りかえる時のご注意

シェル及び衝撃吸収ライナーは、塗料や熱の影響により材質が侵され、衝撃吸収力が低下する場合があります。また、乾燥に50℃以上の熱を必要とする塗料は使用できません。

ヘルメットを塗りかえる必要がある場合は専門の業者にご依頼ください。

❗ ヘルメットは大切に取扱ってください。

ヘルメットは丈夫だからといって、床等に放り投げたり、上に座ったりしないでください。その度に衝撃を吸収するため、衝撃吸収力が低下します。万が一の為に大切に取扱ってください。

また、乗車時での頭を保護する以外の目的には使用しないでください。

！ ヘルメットの保管について

ヘルメットは直射日光の当たる車の中や、暖房機のそばなど、高温（50℃以上）の場所に長時間放置しないでください。（ヘルメットに使われている材質が変質して、性能が低下します。）

また、落下しやすい、オートバイの上や高所などでの保管はしないでください。

！ シールドのお手入れについて

シールドの汚れを取るときには、柔らかい布を使い、薄めた中性洗剤で汚れをふき取り、最後に清水ですすいだ布で拭きあげてください。ガソリン、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。

！ フルフェイスヘルメット使用上のご注意

フルフェイスをご使用の場合、走行中のヘルメット内はほぼ一定の温度ですが、高速度で移動しているため周辺の環境は常に変化しています。そのため、突然の雨やトンネルに入った直後、峠道など高低差がある場合は、ヘルメット内の温度と周辺との気温差が生じるため、シールドが急激に曇ってしまう場合があります。このような状況が予想される時は、あらかじめシールド開度の調整や適切なスピードにするなど注意をするようお願いいたします。

なお、シールドの開閉操作及び、ベンチレーションシャッター操作は、必ず停止した状態で行ってください。走行中の操作は危険です。

！ 乗車用ヘルメットの有効期間は、「購入後3年間」です。

ヘルメットは様々な状況下において使用されるために、見た目以上に劣化が進んでいることがあります。このため、SGマークにはヘルメットの耐久性を考慮して、「購入後3年間」と有効期限を定めて、ヘルメットに表示しております。有効期限を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮できない場合が多く、正常に使って異常が認められなくても、ご購入後3年以内に交換してください。



「PSCマーク」

「P:Product(製品)」、「S:Safety(安全)」、「C:Consumer」の頭文字を略号としてマークで表しています。これは消費生活用製品安全法に基づき製造された製品に表示されるマークで、消費者に対して生命の危険や身体に特に危害に及ぼすおそれが多いと認められる製品を国が「特定製品」として指定していることを意味します。日本国内で販売されるヘルメットは、このマークが表示されていなければ、販売することはできません。

「SGマーク」

SGマークは、製品安全協会が定めたSG基準に適合している製品に表示されるマークです。またSGマークは、万一ヘルメットに欠陥があり、製品安全協会の定めるSG基準に適合していないために着用者が損害を被った場合に、その損害を賠償するものです。なおこの制度はプロオートバイレースやサーカスなどの特殊な用途に用いている際の負傷や、SG基準が定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷などは賠償の対象になりません。

(SGマークに関するお問い合わせ先)

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪 2F

製品安全協会 ☎ (03) 5808-3300 (代表)



FF-5V 取扱説明書・インデックス……P-3

安全・快適にご使用いただくために

ご使用になる前に……P-1

PSC・SGマークについて……P-2

あごひもについて

1 あごひもカバーの脱着方法……P-4

2 あごひもの締め方……P-5

ベンチレーションの空調機能

3 チンベンチレーションの開閉……P-5

4 「トップエアロベンチレーションシステム」と「ウェイクスタビライザー^{PAT.}」……P-6

5 ベンチレーション・シャッター機能の操作方法……P-7

シールドについて

6 「シングルアクションシールドシステム^{PAT.P.}」の使用法……P-8

7 Pinlock® fog-free sheetの使用法……P-10

8 シールドラチェットの脱着方法……P-12

内装（インナーパッド・チークパッド）について

9 チークパッド（ほほ）の脱着方法……P-14

10 チークパッド・インナーフォームの脱着方法……P-16

重要 インナーパッド、チークパッドのお洗濯について……P-17

参考 インナーパッド、チークパッドの互換性について……P-18

11 インナーパッドの脱着方法……P-18

標準付属品について

12 ウィンドシャッターの脱着方法……P-20

13 ブレスガードの脱着方法……P-21

参考 「ブレスガードPro（別売オプション）」について……P-21

パーツリスト

● FF-5Vシリーズ パーツリストと修理対応表……P-22, P-23

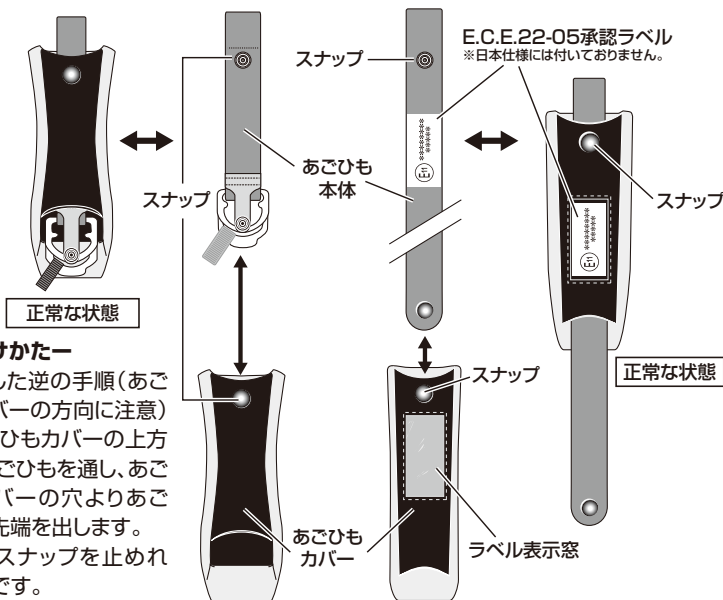
商品に関するお問い合わせ・修理のご依頼方法……P-24

1 あごひもカバーの脱着方法

このヘルメットは、汚れた時などにあごひもカバーを脱着して洗うことが可能です。

ー取り外しかたー

- ① あごひもの根元にあるスナップを外します。
- ② あごひも本体よりあごひもカバーを引き抜くと、取り外せます。



ー取り付けかたー

- ① 取り外した逆の手順(あごひもカバーの方向に注意)で、あごひもカバーの上方より、あごひもを通し、あごひもカバーの穴よりあごひもの先端を出します。
- ② 最後にスナップを止めれば完了です。

!! ご注意

- あごひもカバーを洗濯する際は、洗たく機による、繊維の痛みを防止するため、「洗濯用ネット」などに入れて、洗濯を行ってください。
- あごひもカバーの方向を逆に取り付けると、Dリングが隠れてしまいますので、取付時には方向にご注意ください。

※「ECE22-05承認ラベル」とは

ECE22-05の検査基準に適合している事を示すラベルであり、公的検査機関より1つの製品につき1枚ずつ発行されているシリアルNo.入りのものです。これは、欧州地域での販売に際し、あごひもなどに直接縫い付けての表示が義務付けられています。

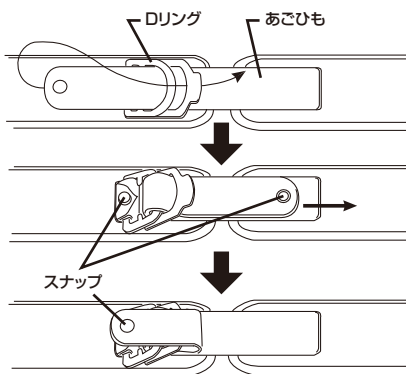
なお、このECE22-05承認ラベルは、欧州規格での表示義務であり、日本国内での表示は義務付けられておりません。このため、日本国内仕様についてはラベル表示はしていませんが、予め承認ラベル表示窓が開けられております。なお、品質・強度的にこの表示窓は全く問題ありません。

2 あごひもの締め方

- ① あごひものをDリングに通し、矢印の方向に引いて、締めてください。
- ② 最後にあごひものバタ付きを防止するためのスナップを止めます。

！ 警告

ヘルメットをご使用の際、あごひものは必ずしっかりと締めてください。締めないまま走行すると、万一の転倒や事故の際に、ヘルメットが脱落する可能性があります、大変危険です。



3 チンベンチレーションの開閉

開けるとき

レバーを右にスライドさせると、シャッターが開き、外気が導入されます。

閉じるとき

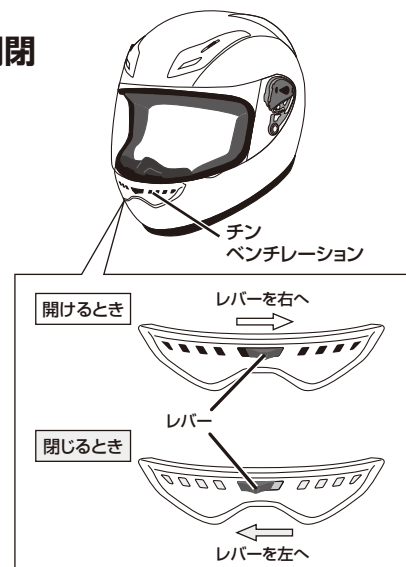
レバーを左にスライドさせると、シャッターが閉まり、外気導入が遮断されます。

！ ご注意

ベンチレーションは、強力な粘着テープで固定しています。無理に取り外そうとすると部品が破損する場合がありますので、絶対に剥がさないでください。

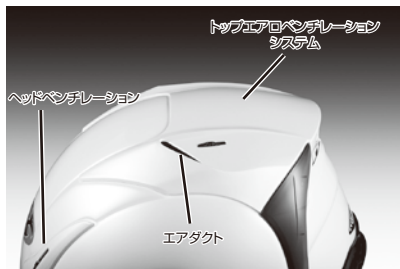
！ 警告

走行中のシャッターレバー操作は危険です。必ず、走行前あるいはオートバイを安全な場所に停車させてから操作してください。



4 「トップエアロベンチレーションシステム」と「ウェイクスタビライザーPAT.」

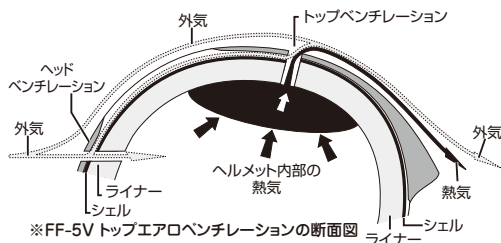
【トップエアロベンチレーションシステム】



オートバイ走行時における前方からの風圧により、ヘルメットが後方へ引っぱられるような現象が、起きることがありますが、当製品には、このような現象を抑制する「トップエアロベンチレーション」を採用しています。

このトップエアロベンチレーションは、整流効果を上げるとともに、ヘルメット内部にこもった熱気を「負圧」の効果により外部へ排出。夏場の暑いときや、レースシーンなどの過酷な状況でのヘルメット内部を快適にします。

またこのトップエアロベンチレーションは、風の導入を任意で開閉する「シャッター機能」が装備されており、寒い冬や雨天時などの冷氣や水滴の侵入をシャットアウトします。



※FF-5V トップエアロベンチレーションの断面図



ウェイクスタビライザーPAT.

【ウェイクスタビライザーPAT.※】※特許No.4311691

ウェイクスタビライザーは、様々な角度から行われた風洞実験の分析結果から生み出されたOGK KABUTOの特許システムで、走行中に発生する帽体付近の空気の流れをコントロールし、負荷を軽減します。

！ご注意

トップエアロベンチレーションおよび、ウェイクスタビライザーPAT.は、軽量化・転倒などによる頭部や身体へのダメージを抑えるため、非常にデリケートな設計になっています。強い力を与えると、破損するおそれがありますので、お取り扱いには十分ご注意ください。

5 ベンチレーション・シャッター機能の操作方法



「トップエアロベンチレーションシステム」は、前後・左右、独立した開閉シャッターを装備しており、状況やお好みに合わせて、それぞれのシャッターが3段階で開閉できます。

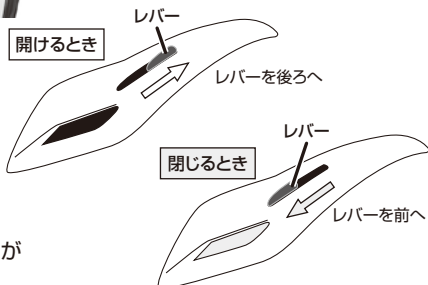
【ヘッドベンチレーションの開閉操作】

開けるとき

レバーを後ろにスライドさせると、シャッターが開き、外気が導入されます。

閉じるとき

レバーを前にスライドさせると、シャッターが閉まり、外気導入が遮断されます。



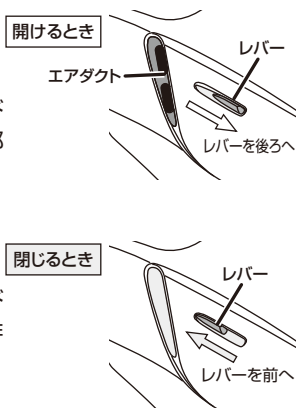
【トップエアロベンチレーションの開閉操作】

開けるとき

トップエアロベンチレーションのレバーを後ろへスライドさせると、エアダクトのシャッターが開き、ヘルメット内部の熱気を強制排出します。

閉じるとき

トップエアロベンチレーションのレバーを後ろへスライドさせると、エアダクトのシャッターが開いて、熱気の強制排出を停止します。



❗ご 注 意

各ベンチレーションは、強力な粘着テープで固定しています。無理に取り外そうとすると部品が破損する場合がありますので、絶対に剥がさないでください。

※「5 トップベンチレーション・シャッター機能の操作方法」に関する次ページの、「警告」・「トップエアロベンチレーションが破損した場合」についても必ずよくお読みください。

⚠ 警告

- 走行中のシャッターレバー操作は危険ですので絶対におやめください。
シャッターレバーを操作するときは必ず、走行前あるいはオートバイを安全な場所に停車させてから操作してください。
- ヘッドベンチレーションおよびトップエアロベンチレーションのベンチレーションホール(エア吸排出穴)は、転倒や事故の際の大きな衝撃を考慮し、最良の大きさ・数で設計しております。むやみに穴を広げたり、穴の数を増やしたりすると、ヘルメットの性能を低下させる原因となり、大変危険ですので絶対におやめください。

① ベンチレーションが破損した場合

各ベンチレーションが破損した場合は、メーカー修理となります。(22~24ページ参照)
なお修理受付の際、ヘルメットの安全性能が保持出来ないと判断した場合は、修理が出来ない事があります。

6 「シングルアクションシールドシステム^{PAT.P}」の使用方法

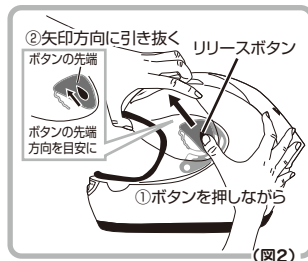
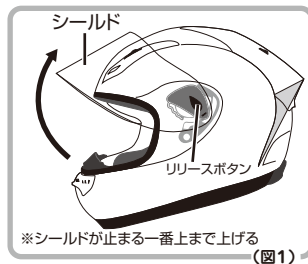
「シングルアクションシールドシステム^{PAT.P}」は、OGK KABUTOが開発したシールド交換システムで、レースや走行時のコンディションに合わせて、素早いシールド交換を可能にしたほか、メンテナンスも容易に行う事ができます。

一シールドの取り外しかた一

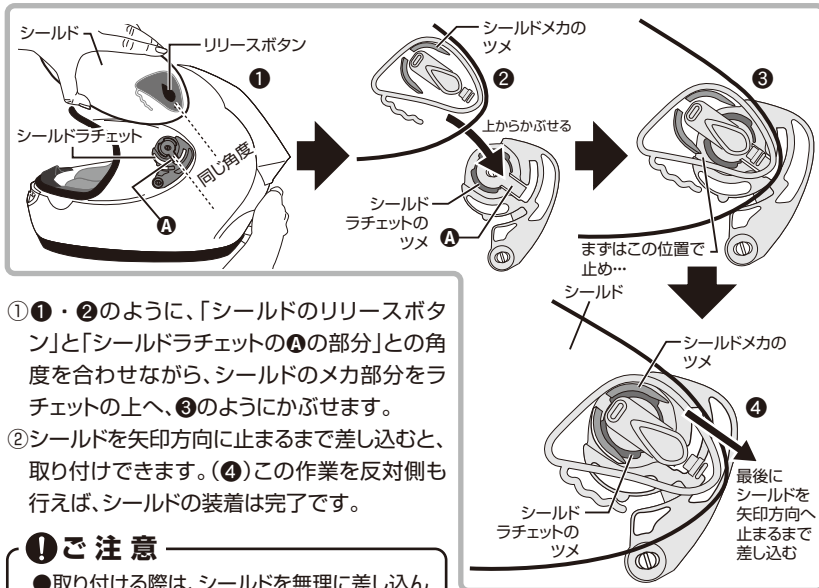
- ① シールドを(図1)のように一番上まで上げた状態にします。(止まる位置まで上げてください)
- ② (図2)のように、シールドにあるリリースボタンを押したまま、矢印方向へ引き抜くと、シールド片側が完全に取り外れます。
※リリースボタン先端の角度を目安に引き抜くと、スムーズに取り外れます。
- ③ この作業をもう片側も行くと、シールドが完全に取り外れます。

① ご注意

- 構造上、シールドを一番上まで上げないと、シールドを外せません。
- 取り外す際は、シールドを無理に引き抜いたり、ねじったりしないでください。シールドやラチェット機構が破損するおそれがあります。
- 取り外したシールドは、キズが付かないよう、お取り扱いには十分ご注意ください。



シールドの取り付けかた



- ① ①・②のように、「シールドのリリースボタン」と「シードラチェットのAの部分」との角度を合わせながら、シールドのメカ部分をラチェットの上へ、③のようにかぶせます。
- ② シールドを矢印方向に止まるまで差し込むと、取り付けできます。(④)この作業を反対側も行えば、シールドの装着は完了です。

！ご 注 意

- 取り付ける際は、シールドを無理に差し込んだり、ねじったりしないでください。シールドやラチェット機構が破損するおそれがあります。
- 取り付けたと、必ず一度シールドを抜く方向に軽く引っ張り、シールドが抜けない事を確認してください。
- シールドの取り付けが完了したら、シールドを3～4回開閉し、正確に開閉動作が出来るか確認を行い、異音がしたり、開閉動作がうまく出来ない場合は、当項目を再度よくご覧になり、最初から取り付け直してください。

！警 告

- シールド取り付け後は、シールドが確実に取り付けられているか、また、開閉動作が正しく出来ているかの確認をしっかりと行ってから走行してください。開閉動作が不完全な場合や、取り付けが不完全ですと、万一、走行中にシールドがうまく作動しなかったり、脱落する可能性があり、大変危険です。なお、開閉動作時に異音がしたり、開閉動作がうまく出来ない場合は、当項目を再度よくご覧になり、最初から取り付け直してください。
- シールドを閉めた際にロックを行う「シールドレバー」の取り付けビスは、定期的に増し締めを行い、メンテナンスを行ってください。(シールドレバーの部位はP-22を参照)
- シールドは消耗品です。虫や飛び石などでシールド表面がキズ付くと、視界を妨げる原因となり、大変危険です。キズや汚れが著しい場合は、そのまま使用を続けずに、早めに新しいシールドに交換してください。

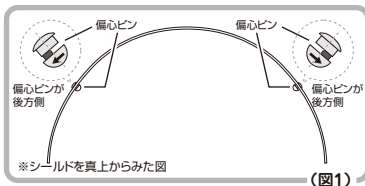
7 Pinlock®fog-free sheetの使用方法

PINLOCK
Pinlock® fog-free sheetは、
Pinlock® fog-free system社の登録商標です。

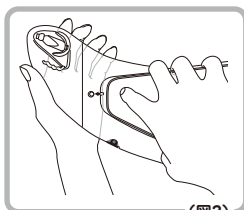
Pinlock®fog-free sheetは、冬期や雨天時などのヘルメット内部の温度変化によるシールドの曇りを抑える曇り止めシートです。シールドとPinlock®fog-free sheetの間に適度なすき間を設けることにより、外気温とヘルメット内部の温度差を平衡に保ち、曇りを抑えクリアな視界をキープします。

ーPinlock®fog-free sheetの取り付けかたー

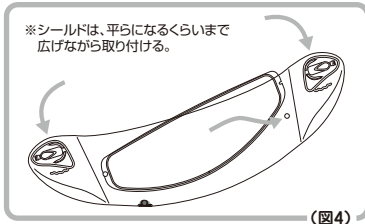
- ①まずシールド内側に取り付けられている偏心ピンがシールド後方側にあるか確認します。偏心ピンが外側へ向いていない場合は、外側へ向くように偏心ピンを回してください。(図1)



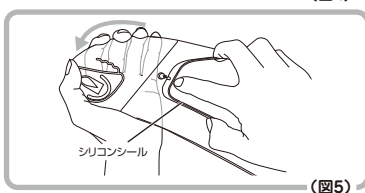
- ②Pinlock® fog-free sheetの保護フィルムを剥がさずに、シリコンシールがある面をシールド内側に密着するように取り付けます。このとき、Pinlock® fog-free sheetの取り付け部を片側よりシールド内側にある偏心ピンへ差し込みます。(図2、図3)



- ③片側の偏心ピンにPinlock® fog-free sheetを差し込んだまま、シールドを平らになるくらいまで広げ、反対側の取り付け部も差し込み、シールドをゆっくり元に戻します。(図4、図5)



- ④シールドをヘルメットに取り付けて、Pinlock® fog-free sheetのシリコンシールが全てに渡ってシールドに密着しているかを確認します。このとき、隙間が見られる場合は、「Pinlock® fog-free sheet・取り付け後の調整」を参照のうえ、調整してください。



※ Pinlock® fog-free sheetの密着度確認は、必ずヘルメットにシールドを装着した状態で行ってください。ヘルメットに装着していない状態では、Pinlock® fog-free sheetの応力により、シールドが装着時よりも広がっている場合がありますので、ご注意ください。

- ⑤最後にPinlock®fog-free sheetの保護フィルムを剥がして取り付けが完了です。

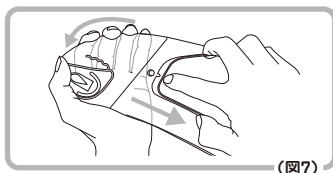


!!ご注意

- Pinlock® fog-free sheetを取り付ける際は、シールドを十分平らにしてから取り付けてください。平らにしないまま装着しようすると、偏心ピンを破損することがあります。
- Pinlock® fog-free sheetを取り付ける際は、シールド内側の汚れをきれいに取り除き、Pinlock® fog-free sheetのシリコンシール側の曇り止め部分には手を触れないよう十分に注意しながら取り付けてください。

—Pinlock®fog-free sheetの取り外しかた—

- ①シールドをヘルメットより取り外します。
- ②Pinlock® fog-free sheetを取り付けたときの要領で、シールドを平らになるまで広げながら、偏心ピンからPinlock® fog-free sheetを取り外します。(図7)

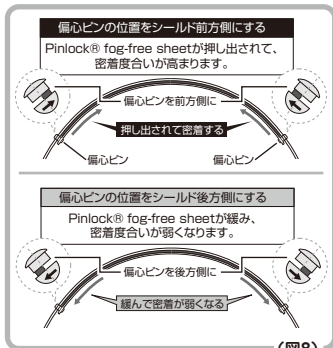


(図7)

—Pinlock®fog-free sheet・取り付け後の調整—

Pinlock®fog-free sheetとシールドに隙間が見られる場合は、調整を行ってください。

- ①ヘルメットからシールドを取り外し、Pinlock®fog-free sheetを取り外します。
- ②偏心ピンを回して(図8)のように、回して調整します。
- ③再度Pinlock®fog-free sheetをシールドに取り付け、ヘルメットに取り付けてから密着度合いを再確認します。調整が必要な場合は、再度上記の作業を行います。



(図8)

!!ご注意

- お手入れの際は、ベンジン・シンナー・ガソリン・ガラスクリーナー、その他の溶剤は絶対に使用しないでください。Pinlock®fog-free sheetの材質を冒すおそれがあります。
- 乾燥の際、50℃以上になる場所や暖房機のそばなどに置いたり、ドライヤーや直火の使用などは絶対におやめください。熱によりPinlock®fog-free sheetの材質を冒すおそれがあります。

!!Pinlock®fog-free sheet・取り扱い上のご注意

- Pinlock®fog-free sheetは、Pinlock®fog-free sheetに対応した専用シールドのみで使用になりますが、それ以外のシールドにはご使用いただけません。
- シールドとPinlock®fog-free sheetの間に曇りや雨水が浸入する場合は、Pinlock®fog-free sheetを取り外し、シールドとPinlock®fog-free sheetの双方を十分に乾燥させてから、再度Pinlock®fog-free sheetを取り付けてください。(※次ページもよくお読みください)

① Pinlock®fog-free sheet・取り扱い上のご注意 (前ページのつづき)

- Pinlock®fog-free sheetは、定期的に取り外してメンテナンスを行ってください。
Pinlock®fog-free sheetを長期間取り付けたままにすると、シリコンシールがシールドに固着する場合があります。
- Pinlock®fog-free sheetをご使用になる場合は、必ず専用のシールド、ピンをご使用ください。また、それ以外のシールドを加工したり、純正部品以外のピンを取り付けたりしないでください。
- チンベンチレーションを閉じたままの状態や、ウィンドシャッターなどを使用すると、Pinlock®fog-free sheetを使用しても曇る場合がありますので、十分にご注意ください。
- 曇り止め効果が低下したり、Pinlock®fog-free sheetに傷などが付いた場合は、そのまま使用せずに新しいPinlock®fog-free sheetに交換してください。
- ライディングポジションによりシリコンシールが視界に入る場合があります。

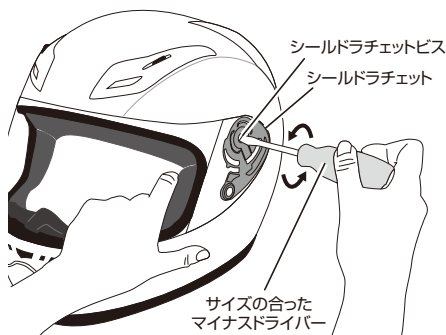
8 シールドラチェットの脱着方法

「シールドラチェット」とは、シールドの開閉や「シングルアクションシールドシステムPAT.P.」の機能をコントロールする部分です。

「6 シングルアクションシールドシステムPAT.P.の使用方法」でシールドを完全に取り外すと、シールドラチェットが現れます。

ーシールドラチェットの取り外しかたー

シールドラチェットを取り付けている、シールドラチェットビスをサイズの適したマイナスドライバーで、左(反時計方向)に回すと、ビスが取り外せ、シールドラチェットも完全に取り外せます。この作業を反対側も行います。



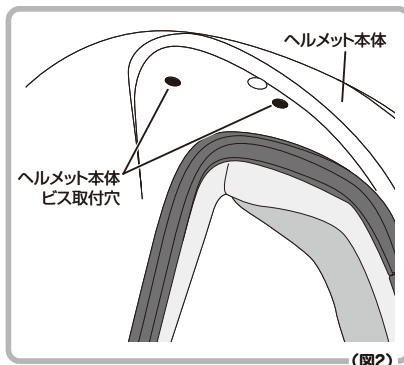
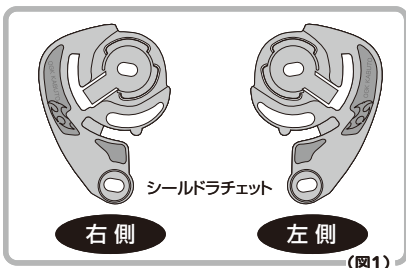
① ご注意

- シールドラチェットビスを取り外す際は、ビスに対して正しくサイズが合ったドライバーを選び、ビスに対してドライバーが垂直になるように回してください。サイズが合っていないか、斜めに回したりすると、ビスのネジ山が潰れてしまうおそれがあります。
- 取り外したビスは、紛失しないようご注意ください。

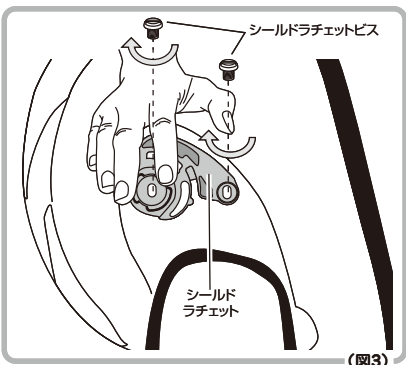
(※シールドラチェットの取り付けかたは次ページをご覧ください)

ーシールドラチェットの取り付けかたー

- ① まずは、(図1)のように、シールドラチェットの方向を確認します。



- ② ヘルメット本体横のくぼみにシールドラチェットを乗せ、シールドラチェットの取付穴とヘルメット本体の取付穴を合わせます。(図2)



- ③ シールドラチェットビスを2箇所とも、右(時計回り)方向にしっかり締めます。この作業を両側とも行うと取り付け完了です。(図3)

！ご 注 意

- シールドラチェットビスを締める際は、必要以上に締め付けないでください。ビスやその他部品が破損するおそれがあります。
- シールドラチェットビスを締める際は、ビスに対してドライバーを垂直にして回すようにしてください。ビスのネジ山が潰れてしまうおそれがあります。

！警 告

- シールドラチェットは、シールドの開閉動作に重要なパーツです。取り付けは確実に行い、取り付けが終わったら、シールドが正しく完全に下まで閉まるか、また開閉動作は正しく行えるかなどの確認を必ず行ってください。
- シールドラチェットビスは、定期的に緩みをチェックし、増し締めを行ってください。緩んだまま走行すると、走行中にシールドが脱落するおそれがあり、大変危険です。

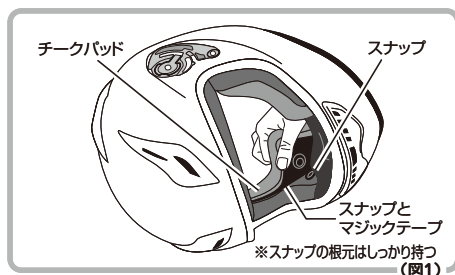
⑨ チークパッド(ほほ)の脱着方法

ーチークパッドの取り外しかたー

- ①まず、チークパッド裏側のスナップ2カ所とマジックテープを外します。(図1)
- ②あごひもをチークパッドの穴から引き抜きます。
- ③ネックパッド中央の根元をしっかりとつかみ、手前に引きます。(図2)
- ④ネックパッド前方にあるフロントジョイントフックを図の矢印方向へ引き抜きます。(図3)
- ⑤ネックパッド後方にあるリアジョイントフック※を「ジョイントバーから回転させる」要領で、図のように引き抜きます。(図4)

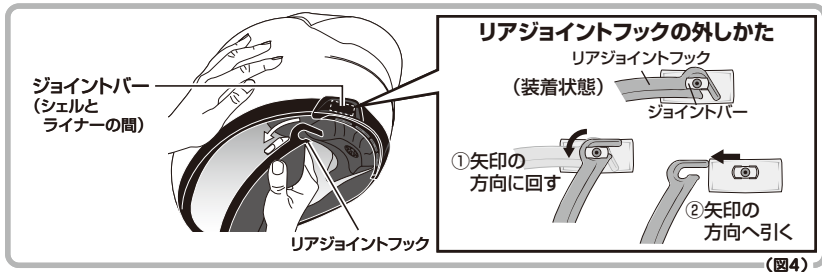
※下記「リアジョイントフックの外しかた」を参照してください。

- ⑥この作業を両側とも行うと、完全に取り外せます。

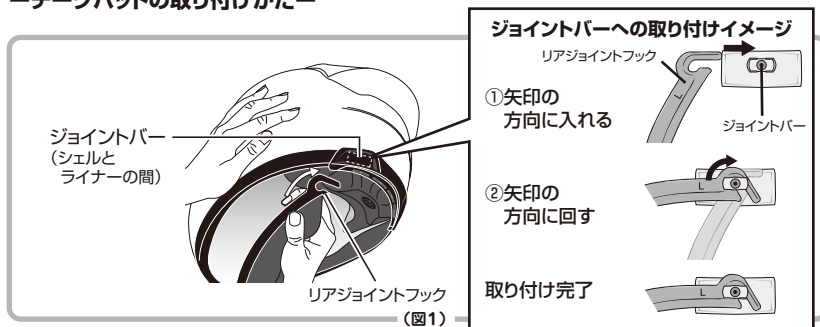


! ご注意

チークパッドのスナップを外す際は、必ずスナップの根元付近を持つようにしてください。スナップから離れた所を持って引っ張ると、スナップ部分が破損するおそれがあります。

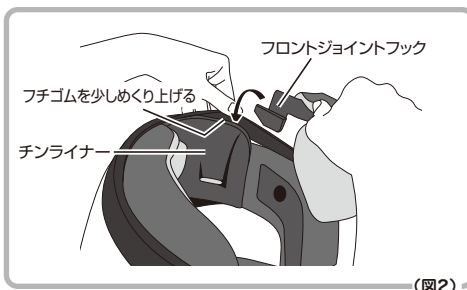


ーチークパッドの取り付けかたー

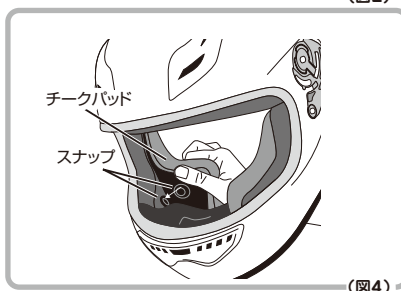


- ①リアジョイントフックを図の位置あたりよりシェルとライナーの間に差込み、その中に隠れている「ジョイントバー」に引っ掛けます。(図1)

- ②ヘルメットあご付近のフチゴムを(図2)のように少しめくり上げ、フロントジョイントフックをチンライナーとフチゴムの間へ、手ごたえがあるまで差込みます。(図2)



- ③ネックパッド中央の芯材をライナーとフチゴムの間へしっかり押し込みます。(図3)



- ④チークパッドのアゴヒモ用の穴にアゴヒモを通し、最後にチークパッド裏側のスナップ2カ所とマジックテープを止め、取り付け完了です。この作業を反対側も同じように行います。(図4)

❗ご注意

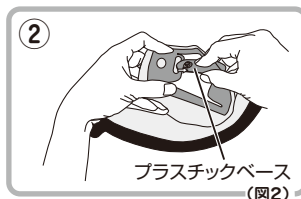
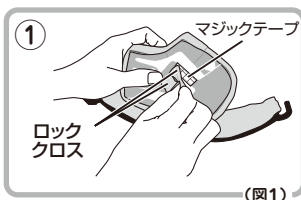
ヘルメットの装着感をより良くするためにも、パッド類の装着は正確に行いましょう。

10 チークパッド・インナーフォームの脱着方法

チークパッドが汚れた際、インナーフォームを外して、洗浄ができます。

ーインナーフォームの取り外しかたー

- ①チークパッドの裏側にある「ロック・クロス」をマジックテープから外します。(図1)
- ②チークパッド裏側にあるプラスチックベースを(図2)のように抜きます。
- ③インナーフォームを取りだします。(図3)

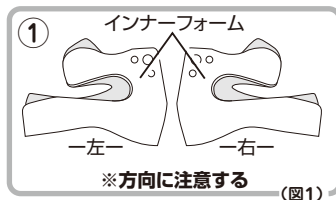


！ご 注 意

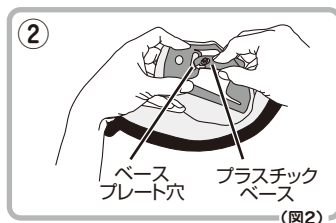
- チークパッドを洗浄する場合、熱湯や有機溶剤での洗浄は行わないでください。
- 洗濯機で洗う場合、必ず市販の洗濯ネットを使用してください。
- 直接肌に触れるチークパッドは、消耗品ですので適時の交換をお薦めします。

ーインナーフォームの取り付けかたー

- ①取りだしたインナーフォームとチークパッドの方向に注意し、それぞれの角に合わせながらインナーフォームを入れていきます。(図1)

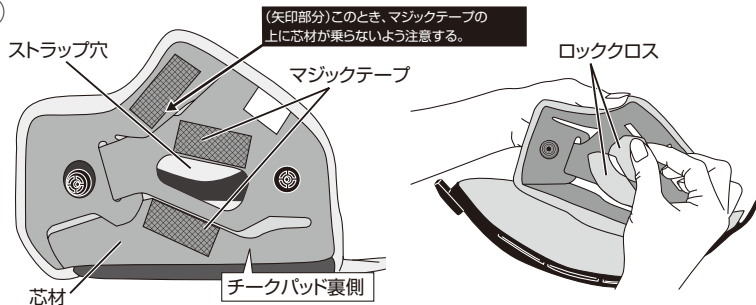


- ②図のように、プラスチックベースをチークパッドのベースプレート穴へ差し込みます。(図2)



次のページへ続く ➡

3



(図3)

- ③ チークパッド表側より、「ロック・クロス」をストラップ穴に通し、裏側にあるそれぞれのマジックテープに止め、完了です。

！ご 注 意

立体的な形状を採用しておりますので、インナーフォームの方向を間違えますと、装着感が著しく低下するおそれがあります。
組み立ての際は必ず正しい方向で取り付けてください。

重要 インナーパッド、チークパッドのお洗濯について

！ご 注 意

- 当製品のインナーパッド、チークパッドは、取り外したあとに洗濯機で洗えますが、必ず洗濯ネットに入れ、個別に洗ってください。
- 洗濯時は、市販の洗濯用洗剤を水もしくはぬるま湯でご使用いただき、熱湯や化学洗剤、有機溶剤などでのクリーニングは、品質の低下や傷みの原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- 市販の洗濯用洗剤でも、種類によっては多少の色落ちが発生する可能性がありますので、洗濯の際はなるべく個別に分けて洗ってください。
- 50℃以上となる、乾燥機能付き・ランドリーなどでの洗濯は、パッドの品質低下や傷みの原因となりますので、それらの機器の使用をさけてください。
- 洗濯後はしっかり水気をきり、なるべく直射日光の当たらない場所で陰干しを行い、十分乾燥したことを確認してからヘルメット本体へ装着してください。
- インナーパッド、チークパッドは消耗品です。通常の使用でも使用頻度によっては、生地やインナーフォームの劣化が進みますので、適時交換をお勧めします。

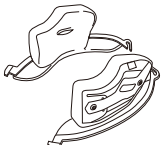
参考 インナーパッド、チークパッドの互換性について

FF-5Vは、インナーパッド、チークパッドともに、以下の通りの互換性がありますので、チークパッドだけを小さめにする、などといった、細やかなサイズ調整が可能です。各パッドをお求めの際は、以下の互換表をもとにお買い求めください。

■FF-5Vインナーパッド: 各 ¥3,675(税込)

	帽体サイズ	パッドサイズ(厚み)	互換性	パッケージ内容
	S帽体	S (15mm)	S, Mの2サイズ内で互換性があります。	インナーパッド×1個入
		M (9mm)		
	L帽体	L (9mm)	Lサイズ専用	インナーパッド×1個入
	XL帽体	XL (9mm)	XL, XXLの2サイズ内で互換性があります。	インナーパッド×1個入
		XXL (6mm)		

■FF-5Vチークパッド: 各 ¥3,150(税込)

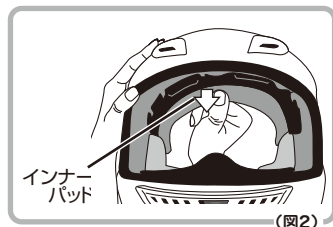
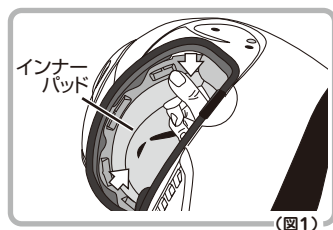
	帽体サイズ	パッドサイズ(厚み)	互換性	パッケージ内容
	S帽体	S (33mm)	全サイズ内で互換性あり	チークパッド(左右)×1個入
		M (29mm)		
	L帽体	L (24mm)		
	XL帽体	XL (24mm)		
		XXL (20mm)		

※FF-5Vあごひもカバー(¥1,050(税込)・左右1セット)は、全サイズ共通です。

11 インナーパッドの脱着方法

ーインナーパッドの取り外しかたー

- ①ヘルメットを逆に持ち、(図1)のように、左右のこめかみ付近の芯材をそれぞれ外します。
- ②次の(図2)のように、中央の芯材を外します。
- ③最後に後頭部にある、3箇所のスナップを外せば、インナーパッドを全て取り外せます。

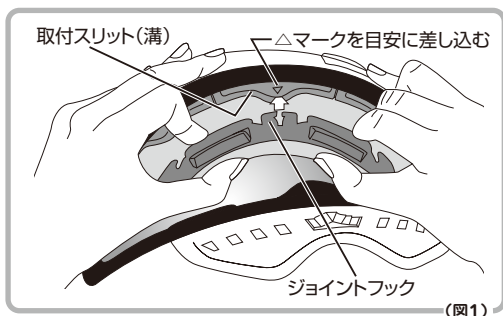


! ご注意

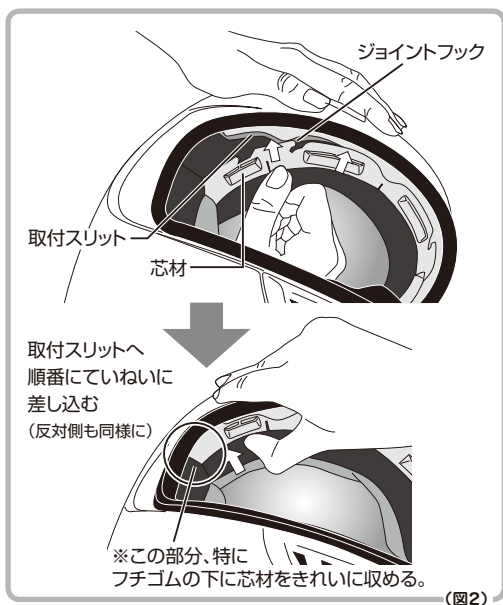
インナーパッドを取り外す際、芯材やスナップは、強引に引っ張らず、ゆっくり引き抜いてください。パッドの生地やその他部品が傷むおそれがあります。

ーINNERパッドの取り付けかたー

- ①(図1)のように、ヘルメット前側(額部)にある△マークを目安に、INNERパッド中央のジョイントフックをヘルメット本体にある取付スリット(溝)に差し込みます。



- ②次に(図2)のように、芯材とジョイントフックをていねいに、ヘルメット中央からサイド(こめかみ部分)にかけて、本体の取付スリット(溝)に差し込みます。
この作業を反対側も同じように行います。



- ③INNERパッド後方(後頭部)にある、3箇所のスナップをそれぞれ取り付けて完了です。

！ご 注 意

- INNERパッドが確実に取り付けられていないと、走行中にヘルメットがずれる可能性があります。大変危険です。ジョイントおよびスナップは、確実に取り付けてください。
- ヘルメットの装着感をより良くするためにも、パッド類の装着は正確に行いましょう。

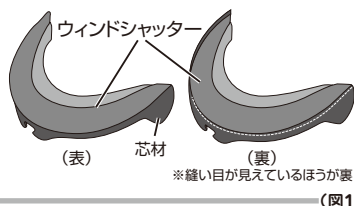
12 ウィンドシャッターの脱着方法

この製品には、標準付属品として「ウィンドシャッター」が同梱されています。

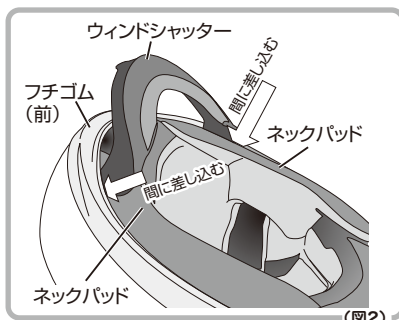
このパーツは、走行中に発生する、あご付近からの風の巻き込みを軽減するもので、季節や用途に応じてお好みで脱着できます。

ーウィンドシャッターの取り付けかたー

- ①まず(図1)をご覧くださいのうえ、「表」と「裏」をお間違えないよう、ご確認ください。

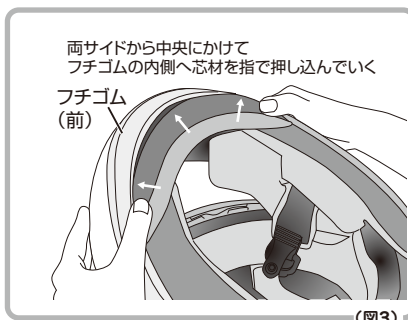


(図1)



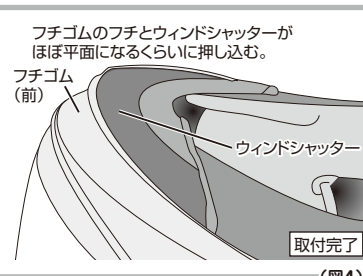
(図2)

- ②次に(図2)のように、ヘルメットを裏返し、ヘルメットの前部(あご部分)へウィンドシャッターを取り付けます。このとき、ウィンドシャッターの両側の芯材をネックパッドの前付近とフチゴムの間に差し込みます。



(図3)

- ③次に(図3)のように、両サイドから中央にかけ、均一にウィンドシャッターの芯材をフチゴムの内側へ押し込んでいきます。



(図4)

①ご注意

- 取り付けは確実に行ってください。取り付けが不完全ですと、走行中に脱落するおそれがあります。
- 取り付けの際、接着剤などは使用せず、必ず上記の方法でのみ取り付けを行ってください。接着剤などの成分により、ヘルメットの材質が侵されるおそれがあります。

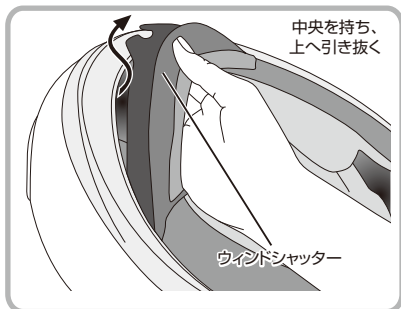
- ④フチゴムのフチとウィンドシャッターの表面がほぼ平面になるよう、セットすれば取り付け完了です。(図4)

ーウィンドシャッターの取り外しかたー

ウィンドシャッター中央の芯材付近をしっかりと持ち、上へ引っ張ると、取り外せます。

❗ご 注 意

ウィンドシャッターを取り外す際は、必ず芯材付近をお持ちください。
生地だけを引っ張ると、生地や部品が破損することがあります。



13 ブレスガードの脱着方法

FF-5Vの「ブレスガード」は、お好みにより脱着できるようになっています。

ーブレスガードの取り外しかたー

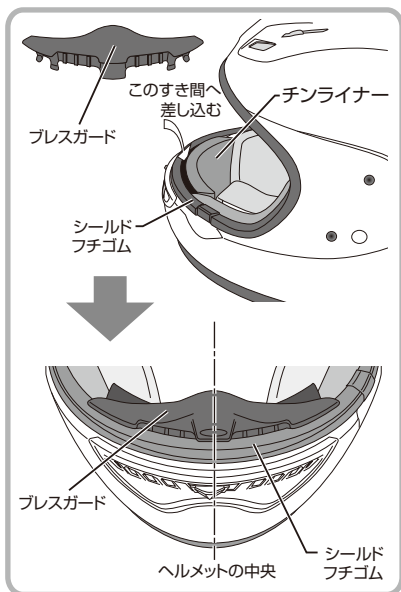
ブレスガードをしっかりとつかみ、引き抜くと取り外せます。

ーブレスガードの取り付けかたー

図のように、ヘルメット中央とブレスガードの中央を合わせて、シールドフチゴムとチンライナーのすき間に押し込めば、取り付け完了です。

❗ご 注 意

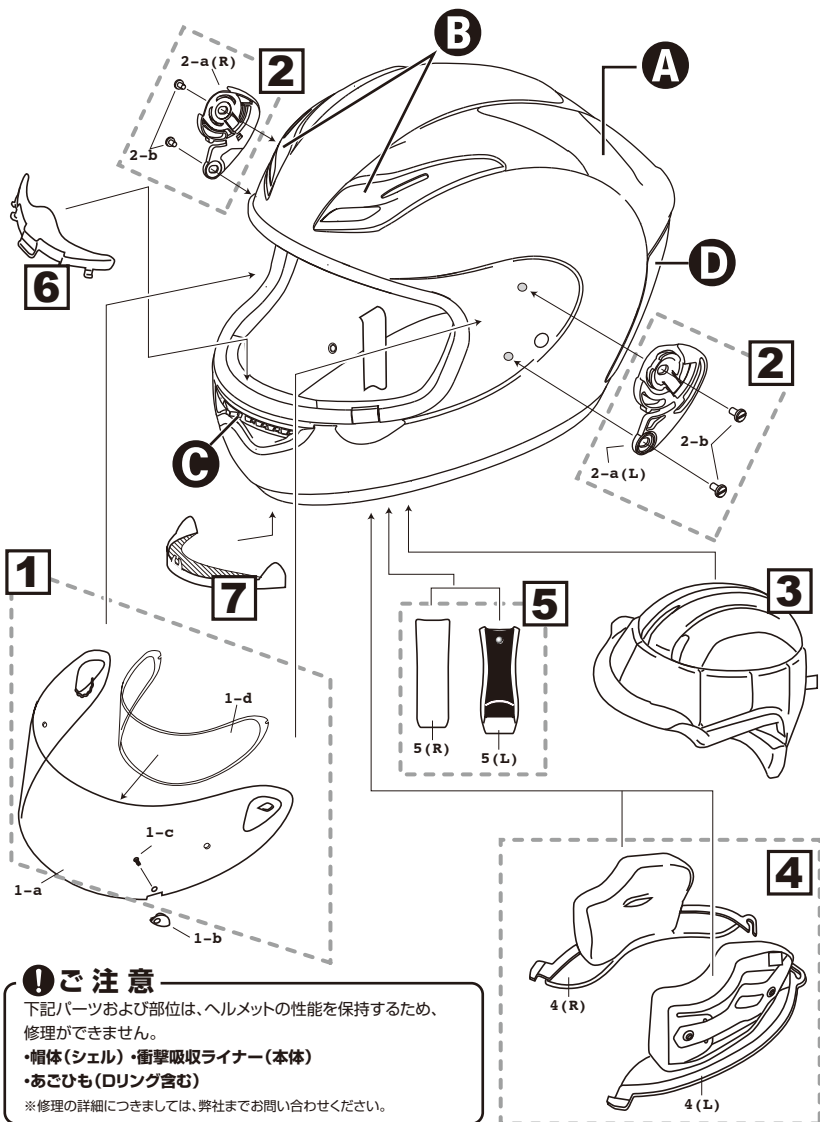
取り付ける際、接着剤などは使用せず、必ず上記の方法での取り付けのみ行ってください。
接着剤などの成分により、ヘルメットの材質が侵されるおそれがあります。



参考「ブレスガード^{プロ}Pro(別売オプション)」について

FF-5Vには、このブレスガードの他にも、大型サイズ「ブレスガード^{プロ}Pro」の別売設定もございます。お買い求めは、OGK KABUTOヘルメット取扱店または販売店でお願いします。
(別売オプション)ブレスガード^{プロ}Pro: ¥1,050(税込)

●FF-5Vシリーズ 補修パーツリストと修理対応表



FF-5Vシリーズ・補修パーツ／価格表

No.	パーツ名称	パッケージ内容	価格 (税込)
1	SAF-Pシールド	1-a:SAF-Pシールド (標準:ライトスモーク) ×1枚	¥4,200
	シールドレバーセット	1-b:シールドレバー本体×1ヶ	
		1-c:2.3X6 B-0 取付ビス×1ヶ	
	SAF-P Pinlock®fog-free sheet	1-d:Pinlock®fog-free sheet (クリア) ×1枚	¥3,150
2	SAFシールドラチェットセット	2-a:SAFラチェット (左右) ×1セット	¥1,260
		2-b:FF-4ビス (アルミ・8L) ×4個	
	シールドラチェットビスセット	2-b:FF-4ビス (アルミ・8L) ×4個	¥210
3	FF-5V インナーパッド	※P-18参照 (S, M, L, XL, XXL) ・インナーパッド×1個	¥3,675
4	FF-5V チークパッドセット	※P-18参照4- (L/R) : (S, M, L, XL, XXL) ・左右×1セット	¥3,150
5	FF-5V あごひもカバー	5- (L/R) :あごひもカバー (左右) ×1セット	¥1,050
6	プレスガードNo.3	プレスガードNo.3×1個	¥1,050
7	ウインドシャッターNo.1	ウインドシャッターNo.1×1個	¥1,050
別 売 専 用	SAFシールド※リプレイスシールド用シールドポスト付き	クリア、ライトスモーク、ミディアムスモーク、スモーク	¥4,200
	SAFミラーシールド※リプレイスシールド用シールドポスト付き	シルバーミラー、ブルーミラー	¥6,090
	リプレイスシールド (オプション) ※リプレイスシールドをご使用になる場合は、シールド ポストが必要です。別売の「SAFシールド (¥4,200)」をご使用またはお買い求めください。	クリア (5枚入)	¥1,050
		スモーク (3枚入)	¥1,050
		シルバーミラー (3枚入)	¥1,050
	プレスガードPro (オプション)	プレスガードPro×1個	¥1,050

※上記パーツは、OGK KABUTO製品取扱販売店にてお買い求めください。

※パーツにカラーが設定されているものについては、お買い上げの販売店へご注文の際に、カラーをお告げください。

※製品の性能をさらに向上させるために、材質や仕様、価格等を予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

※パーツの詳細は、OGK KABUTOホームページ(www.ogkhelmet.com)でもご覧になれます。

FF-5Vシリーズ・修理対応パーツ／価格表

※下記パーツは、一部を除いてOGK KABUTO自社工場でのメーカー修理扱いとなり、基本的にお客様への直接販売は出来ません。

※当社製造不良等の原因以外による破損等につきましては、下記の通り有償修理となりますので、予めご了承ください。

	パーツ名称・修理内容	カラー／サイズ	価格 (税込)	備 考
A	トップエアロベンチレーション +ウエイクスタビライザー	単色	¥5,250	●FF-5V専用 ●トップエアロフィンとの交換はウエイクスタビライザー (左右) も同時交換となりますが、当交換費用にウエイクスタビライザーの費用も含まれています。
		グラフィック各種	¥5,775	
B	ヘッドベンチレーション	単色	¥2,100	●FF-5/FF-5V共通 ●左右同時交換となります。
		グラフィック各種	¥2,625	
C	チンベンチレーション	単色	¥1,575	●FF-5/FF-5V共通 ●パーツのみ販売可能
		グラフィック各種		
D	ウエイクスタビライザー	S帽体用 (S,M)	¥1,575	●FF-5V専用 ●全カラー共通 ●左右同時交換となります。 ●帽体サイズにより部品が異なります。
		L帽体用 (L)		
		XL帽体用 (XL,XXL)		

■ 修理のご依頼についての詳細は、24ページをご覧ください。

**当製品は、内装生地には汗を素早く蒸散し、
いつもサラッと快適な「クールマックス®」を使用しています。**

－ 汗を素早く蒸散し、いつもサラッと快適 －

- 体から発汗すると、「クールマックス®」は水分を外へ排出し、空気が外部から入り込んで、冷却・乾燥させる効果があり、体表温度を下げ、優れた水分調整機能を発揮します。
- 「クールマックス®」は自然な風合いを持ち、ソフトで軽量、通気性にも優れています。

※「COOLMAX®」および「クールマックス®」はインビスタ社の登録商標です。

商品に関するお問い合わせと修理のご依頼方法:

■商品に関するお問い合わせは、下記までご連絡、もしくはお問い合わせください。

修理のご依頼方法

■修理のご依頼は、お買い上げの販売店もしくは、弊社までお問い合わせください。

■修理ご依頼品をお送りいただく前に、必ず下記までご連絡、もしくはお問い合わせください。事前にご連絡をいただけない場合、スムーズな修理対応ができない場合がございます。

※修理品到着後、弊社にて「ヘルメット本体の安全性能を確保しかねる」と判断した場合は、修理をお断りする場合がございますので、予めご了承ください。

修理できないパーツ

■下記パーツおよび部位は、ヘルメットの性能を保持するため、修理できません。

- 帽体(シェル)
- 衝撃吸収ライナー(本体)
- あごひも(Dリング含む)

※その他、修理の詳細につきましては、弊社までお問い合わせください。

商品に関するお問い合わせ・修理のご依頼についてのご連絡先:

株式会社 オージーケーカブト **TEL: 06-6747-8031**

〒577-0016 大阪府東大阪市長田西6丁目3-4



株式会社 オージーケーカブト
〒577-0016 大阪府東大阪市長田西6丁目3-4 TEL:06-6747-8031